

プロフィールシート

プロフィール



・所属

信州大学 社会基盤研究所地域デザイン部門 准教授（農学部併任）
International Federation of Landscape Architect 日本代表

・名前 上原 三知（うえはら みさと）

・略歴 （九州大学・芸術工学博士・地域計画、ランドスケープデザイン）

研究・技術シーズ名：

- 1.日本の都市・地域開発と自然災害の経験を活用したSDGsの実現と国際貢献
- 2.公共緑地空間へのアクセシビリティの改善による医療費の削減と地域ツーリズムモデルの開発

主要キーワード

自然災害への対応、グリーンインフラストラクチャー、環境アセスメント、エコロジカル・プランニング

パブリック・フットパス、ストレス軽減効果、環境保全型ツーリズム、インバウンド

研究・技術シーズ概要：

1.日本の都市・地域開発と自然災害の経験を活用したSDGsと国際貢献

日本で初めて総合的な単位での国土計画を行うために設立された国土庁の総合的な環境評価資料と米国の環境アセスメント手法を用いて、東日本大震災の被災地における災害リスクの可視化や、実際の復興支援を行ってきた。その中で、実際に東北で数少ない人口回復を実現した地域の復興計画に関わることができた。このような災害からの復興の成功モデルのテンプレート化の研究を継続する。

日本は、アジアの中で最初に産業革命と都市化を達成し、現在では人口減少高齢化という成熟期に突入している。その上で、世界で最も自然環境が多様で、災害も多い我が国の特性と経験を活かした持続可能な開発に資する研究成果をアジアや世界に向けて発信する。国内外の持続可能な地域デザインモデルの比較分析を通じて、災害に強く、魅力的な都市づくりのサポートと研究成果の社会実装を行う。

2.公共緑地空間へのアクセシビリティの改善による医療費の削減と地域ツーリズムモデルの開発

日本は、国土に占める森林の比率が世界で第3位(約60%)ながらも、その利用率が世界でもワーストである。このように有効に活用されていない環境を有効活用するために、英国のBTCVと呼ばれる環境保全型のツーリズムプログラムを参考に、林内での環境保全プログラムや、散策プログラムが与えるリラクゼーション効果の測定を継続してきた。また、英国における森林だけでなく、田園地域、海岸、集落等の多様な地域をつなぐフットパスの日本における社会実装とその効果の検証を継続して行う。

産業ニーズ・応用シーン：

1.日本の都市・地域開発と自然災害の経験を活用したSDG s および国際貢献

信州大学は環境に優しい世界の大学ランキング「UI GreenMetric World University Rankings 2018」で国内1位、世界で48位の評価を得ている。小職はInternational Federation of Landscape Architects(IFLA) 国際ランドスケープアーキテクト連盟の日本代表を努めており、海外の50数カ国のランドスケープ・アーキテクトの組織およびその代表と気候変動に関わる研究タスクに取り組んでいる。昨年は、シンガポール、台湾から国の官僚、研究者を招聘し、東北大学工学部、復興庁、実際の被災地の自治体と連携した研究ツアーを実施した。

IFLA自体も国際連合の専門機関ユネスコ（UNESCO、国際連合教育科学文化機関）からの認定を受けた唯一の団体であり、このような、日本の災害の経験や復興の課題を国際社会と共有し、共同研究するサポートを企業のCSRとして支援いただきたい。

2.公共緑地空間へのアクセスビリティの改善による医療費の削減と地域ツーリズムモデルの開発

これまで実施してきた環境保全活動や、森林内の散策ルートの特性によるリラクゼーション効果の研究成果を応用した新たな公園緑地、森林のアクセスビリティの改善を行う。

加えて、長野県を対象とした、より総合的な公園緑地へのアクセスビリティと医療費の削減効果の検証や、その実験的なモデルとしての地域ツーリズムモデルの開発に関する共同研究を希望する。

展開が期待される分野・領域：

■農業 ■林業 □水産 □畜産 □鉱業 ■建設 □食品 □繊維製品 □木製品 □パルプ・紙 □化学品 □医薬品 □化粧品 □石油製品 □プラスチック □ゴム製品 □革製品 □鉄鋼 □非鉄金属 □金属製品 □セラミック □炭素系新素材 □新素材（その他） □機械 □工作機械 □自動車 □二輪車 □航空宇宙 □電気機器 □精密機器 □光学機器 □産業用機器 □ロボット □ファクトリーオートメーション □音響機器 □半導体 □電子部品 □電池 □コンピュータ □モバイル □AR/VR □エネルギー □資源 □情報通信 □衣料 □装飾 □インターネット □情報処理 □電力 □ガス □レーザー □光 □セキュリティ ■住宅 □材料分析 □画像処理 □音声認識 □バイオ □省エネ □水 □放送 □広告 □運輸 □倉庫 □郵便 □卸売 □小売 □交通 □e-コマース □金融 □保険 ■不動産 □物品賃貸 ■宿泊 □飲食店 □生活関連サービス ■観光 □コンテンツ（映像等） □娯楽 □教育学習支援 ■医療 ■ヘルスケア ■福祉 □介護 □衛生 □リサイクル □MaaS □SaaS ■都市開発 ■インフラ ■環境 □印刷、出版 □伝統工芸 □アート □音楽 ■デザイン □その他（ ）

その他PR事項：（産学共同実績 等）

受賞

- 1.相島における循環型地域システム,上原三知,(設計競技),-新世紀の田園居住-2000年度日本建築学会設計競技九州支部入選
- 2.「自然循環型社会に向けた潜在的な地域資源量の評価と土地利用計画に関する研究」,上原三知,平成18年度日本造園学会賞研究奨励賞,2006
3. International Federation of Landscape Architects, Outstanding Awards, Category: Natural Disasters and Weather Extremes Africa, Asia Pacific, Middle East Awards 2018, Resilience by Design,2018
4. International Federation of Landscape Architects, Honorable Mention, Category: Analysis and Master planning, Asia Pacific, Middle East Awards 2018, Resilience by Design,2018
- 5.国土交通省 第1回グリーンインフラ大賞 優秀賞 民有林と街を紡ぐ新たなコモン;フットパスという戦略 上牧里山づくり,信州大学社会基盤研究所,2020年12月

実際の計画業務

- 1.東日本大震災からの復興計画 -受託研究 新地町国土利用計画策定に関する調査-
- 2.飯田市との連携による地域計画 -受託研究 「農地・景観保全調査(エコロジカル・プランニング手法)」,リニア駅周辺整備検討会議(飯田市) 環境・景観部会-

研究概要紹介

<https://www.youtube.com/watch?v=Q0iPuGTKHOI>